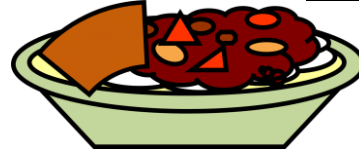


しょうわ 25日は、昭和の給食メニューです！



ハヤシライス
ハムカツ
フレンチサラダ
牛乳



昭和40年代の給食をみてみよう！

だっしぶんにゅう 脱脂粉乳

ぎゅうにゅうでなく、「だっしぶんにゅう」を溶いたミルクを飲んでいました。大きな食缶や、やかんに入れて教室に運ばれ、一杯ずつよそっていました。

しょっき 食器

しょっき食器は、今のようにきれいな色や絵が、ついたものでなく、アルマイト製のせい。そして、スプーンとフォークの両方のつかかたが使える「先割れスプーン」をつか使っていました。

コッペパン

しょうわの給食の主食といえば「パン」でした。ごはんが出るようになったのは、しょうわ51年頃からです。その頃は、ごはんは週1回でした。



《給食の歴史》

めいじ22年、やまがたけんしょうがっこうで、いえがまづしくてお弁当をもってこることが、できない子どもたちにおひるごはんをだしたのが学校給食のはじまりです。

しょうわに入り、せんそうが始まると、食料が不足し、学校給食は中断されました。

戦争がおわると、アメリカからのえんじょをうけて、再び給食がはじまりました。

その後、給食は全国に広がり、今ではいろいろなメニューの給食が登場しています。